



ノード設定の変更

この章では、Cisco ONS 15454 のノードプロビジョニングを変更する方法について説明します。新しいノードをプロビジョニングする場合は、[第4章「ノードの起動」](#)を参照してください。ネットワーク要素のデフォルト設定を変更して、これらの設定を表示する場合は、『*Cisco ONS 15454 Reference Manual*』の付録「Network Element Defaults」を参照してください。

準備作業

次の手順を実行する前に、すべてのアラームを調べて、問題をすべて解決しておいてください。必要に応じて、『Cisco ONS 15454 Troubleshooting Guide』を参照してください。

この章では次の NTP（手順）について説明します。適用する DLP（作業）については、各手順を参照してください。

1. 「NTP-A81 ノード管理情報の変更」(p.11-3) — ノード名、連絡先情報、緯度、経度、日付、時刻、およびログイン時の法的免責事項の説明を変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
2. 「NTP-A201 CTC ネットワーク アクセスの変更」(p.11-4) — IP アドレス、デフォルト ルータ、サブネット マスク、ネットワーク構成の設定、およびスタティック ルートを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
3. 「NTP-A319 OSI プロビジョニングの変更」(p.11-5) — Open Systems Interconnection (OSI; 開放型システム間相互接続) ルーティング モード、Target Identifier Address Resolution Protocol (TARP)、ルータ、サブネット、IP over OSI トンネルなど、OSI パラメータを変更する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
4. 「NTP-A202 CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ」(p.11-6) — ドメインを作成したりネットワーク マップの体裁をカスタマイズしたりする場合は、必要に応じてこの手順を実行します。これらの手順には、異なるデフォルト マップの指定、ドメインの作成、独自マップやイメージの選択、背景色の変更などが含まれています。
5. 「NTP-A203 カード保護設定の変更または削除」(p.11-7) — 必要に応じて、この手順を実行します。
6. 「NTP-A292 通信チャネルの終端とプロビジョニング可能なパッチコードの変更または削除」(p.11-8) — Section DCC (SDCC) または Line DCC (LDCC) の終端あるいはプロビジョニング可能なパッチコードを変更または削除する場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
7. 「NTP-A85 ノードのタイミング変更」(p.11-9) — 必要に応じて、この手順を実行します。
8. 「NTP-A205 ユーザの変更とセキュリティの変更」(p.11-10) — セキュリティ レベルやセキュリティ ポリシーを含むユーザ設定を変更したり、Remote Authentication Dial In User Service (RADIUS) サーバ設定を変更したり、ユーザを削除したりする場合は、必要に応じてこの手順を実行します。
9. 「NTP-A87 SNMP の設定変更」(p.11-11) — 必要に応じて、この手順を実行します。

NTP-A81 ノード管理情報の変更

目的	この手順では、ノード名、日付、時刻、連絡先情報、またはログイン時の法的免責事項の説明を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「NTP-A25 名前、日付、時刻、連絡先情報の設定」(p.4-7)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

-
- ステップ 1** 「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。
- ステップ 2** 「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。
- ステップ 3** 必要に応じて、「DLP-A140 ノード名、日付、時刻、および連絡先情報の変更」(p.18-19) を行います。
- ステップ 4** 必要に応じて、「DLP-A265 ログイン時の法的免責事項の説明の変更」(p.19-63) を行います。
- ステップ 5** 変更内容を確認したら、「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A201 CTC ネットワーク アクセスの変更

目的	この手順では、IP の設定、スタティック ルート、および Open Shortest Path First (OSPF) オプションといった基本的なネットワーク情報を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「NTP-A169 CTC ネットワーク アクセスの設定」(p.4-10)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



(注) IP アドレッシングの例、スタティック ルートのシナリオ、OSPF プロトコルや Routing Information Protocol (RIP) のオプションなど、ONS 15454 のネットワーキングに関するその他の情報と手順については、『Cisco ONS 15454 Reference Manual』を参照してください。

ステップ 1 「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。

ステップ 2 「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- 「DLP-A266 IP 設定の変更」(p.19-64)
- 「DLP-A142 スタティック ルートの変更」(p.18-20)
- 「DLP-A143 スタティック ルートの削除」(p.18-21)
- 「DLP-A144 OSPF のディセーブル化」(p.18-21)
- 「DLP-A250 OSPF プロトコルの設定または変更」(p.19-43)
- 「DLP-A382 プロキシ トンネルの削除」(p.20-94)
- 「DLP-A383 ファイアウォール トンネルの削除」(p.20-94)
- 「DLP-A434 ノードセキュリティのロック」(p.21-14)
- 「DLP-A435 バックプレーン ポートの IP 設定の修正」(p.21-15)
- 「DLP-A436 ノードのセキュリティ モードのディセーブル化」(p.21-16)

ステップ 4 「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A319 OSI プロビジョニングの変更

目的	この手順では、OSI ルーティング モード、TARP、ルータ、サブネット、および IP over CLNS トンネルなど、ONS 15454 の OSI パラメータを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「NTP-A318 OSI のプロビジョニング」 (p.4-17)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



(注) ONS 15454 に実装されている OSI の詳細については、『*Cisco ONS 15454 Reference Manual*』の「Management Network Connectivity」の章を参照してください。

ステップ 1 [「DLP-A60 CTC へのログイン」](#) (p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

ステップ 2 [「NTP-A108 データベースのバックアップ」](#) (p.15-6) を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [「DLP-A535 TARP 動作パラメータのプロビジョニングまたは変更」](#) (p.22-45)
- [「DLP-A536 TARP データ キャッシュへのスタティック TID/NSAP エントリの追加」](#) (p.22-47)
- [「DLP-A537 TARP データ キャッシュからのスタティック TID/NSAP エントリの削除」](#) (p.22-48)
- [「DLP-A538 TARP MAT エントリの追加」](#) (p.22-49)
- [「DLP-A543 TARP MAT エントリの削除」](#) (p.22-54)
- [「DLP-A544 OSI ルーティング モードの変更」](#) (p.22-55)
- [「DLP-A545 OSI ルータ設定の編集」](#) (p.22-56)
- [「DLP-A546 OSI サブネットワーク接続ポイントの編集」](#) (p.22-57)
- [「DLP-A547 IP-Over-CLNS トンネルの編集」](#) (p.22-58)
- [「DLP-A548 IP-Over-CLNS トンネルの削除」](#) (p.22-59)

ステップ 4 [「NTP-A108 データベースのバックアップ」](#) (p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A202 CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ

目的	この手順では、Cisco Transport Controller (CTC) のネットワーク ビューを変更します。各ノードをドメイン別にグループ化して見やすくしたり、ネットワーク ビューの背景色を変更したり、ネットワーク ビューの背景にカスタム イメージを使用したりすることができます。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	なし
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 「DLP-A60 CTC へのログイン」 (p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて、次の作業を行います。

- 「DLP-A145 ネットワーク ビューの背景色の変更」 (p.18-22)
- 「DLP-A528 ネットワーク ビューのデフォルト背景マップの変更」 (p.22-30)
- 「DLP-A268 ネットワーク ビューへのカスタム背景マップの適用」 (p.19-66)
- 「DLP-A148 ドメイン アイコンの作成」 (p.18-23)
- 「DLP-A149 ドメイン アイコンの管理」 (p.18-24)
- 「DLP-A269 ダイアログボックス非表示オプションのイネーブル化」 (p.19-67)
- 「DLP-A498 TDM と DWDM のネットワーク ビューの切り替え」 (p.21-68)

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A203 カード保護設定の変更または削除

目的	この手順では、カード保護の設定を変更または削除します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「NTP-A324 保護グループの作成」 (p.4-13)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

**注意**

保護グループの変更や削除はサービスに影響することがあります。

-
- ステップ 1** [「DLP-A60 CTC へのログイン」](#) (p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。
- ステップ 2** [「NTP-A108 データベースのバックアップ」](#) (p.15-6) を実行します。
- ステップ 3** 必要に応じて次の作業を行います。
- [「DLP-A150 1:1 保護グループの変更」](#) (p.18-25)
 - [「DLP-A152 1:N 保護グループの変更」](#) (p.18-26)
 - [「DLP-A154 1+1 保護グループの変更」](#) (p.18-27)
 - [「DLP-A35 最適化 1+1 保護グループの変更」](#) (p.17-50)
 - [「DLP-A155 保護グループの削除」](#) (p.18-28)
- ステップ 4** [「NTP-A108 データベースのバックアップ」](#) (p.15-6) を実行します。
- 終了：この手順は、これで完了です。
-

NTP-A292 通信チャネルの終端とプロビジョニング可能なパッチコードの変更または削除

目的	この手順では、ONS 15454 の SDCC または LDCC 終端を変更または削除します。また、ONS 15454 でプロビジョニング可能なパッチコードを削除します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「DLP-A377 SDCC 終端のプロビジョニング」(p.20-83) または 「DLP-A378 LDCC 終端のプロビジョニング」(p.20-86) または 「DLP-A367 プロビジョニング可能なパッチコードの作成」(p.20-64)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



注意

Data Communications Channel (DCC; データ通信チャネル) の終端を削除すると、DCC がほかに設定されていないノードや、CTC コンピュータにネットワークで接続されていないノードが見えなくなります。

ステップ 1 「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。

ステップ 2 必要に応じて次の作業を行い、DCC 設定を変更します。

- 「DLP-A374 SDCC 終端の変更」(p.20-74)
- 「DLP-A375 LDCC 終端の変更」(p.20-75)

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行い、DCC 終端を削除します。

- 「DLP-A156 SDCC 終端の削除」(p.18-28)
- 「DLP-A359 LDCC 終端の削除」(p.20-56)

ステップ 4 必要に応じて、「DLP-A368 プロビジョニング可能なパッチコードの削除」(p.20-66) を行います。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A85 ノードのタイミング変更

目的	この手順では、ONS 15454 に設定されている SONET タイミングを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「NTP-A28 タイミングの設定」(p.4-12)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル



注意

内部タイミングは Stratum 3 なので、一時的にしか使用しません。ONS 15454 のタイミングは、すべて Stratum 2 以上のプライマリ基準ソースに合わせる必要があります。

- ステップ 1** 「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、**ステップ 2** へ進みます。
- ステップ 2** 「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。
- ステップ 3** 必要に応じて、「DLP-A157 ノードのタイミング ソースの変更」(p.18-29) を行います。
- ステップ 4** 内部タイミングの設定を変更する場合は、変更する設定について「DLP-A70 内部タイミングの設定」(p.17-93) を参照してください。
- ステップ 5** Bidirectional Line Switched Ring (BLSR; 双方向ライン スイッチ型リング) または Unidirectional Path Switched Ring (UPSR; 単方向パス スイッチ型リング) からノードを削除したあとにタイミングの確認が必要な場合は、「DLP-A195 縮小されたリングで使用されているタイミングの確認」(p.18-73) を参照してください。
- ステップ 6** 「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A205 ユーザの変更とセキュリティの変更

目的	この手順では、ONS 15454 の ユーザ プロパティとセキュリティ プロパティを変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「NTP-A30 ユーザの作成とセキュリティの割り当て」(p.4-6)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	スーパーユーザ

ステップ 1 「DLP-A60 CTC へのログイン」(p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

ステップ 2 「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- 「DLP-A462 アクティブ ログインの表示および終了」(p.21-46)
- 「DLP-A271 セキュリティ ポリシーの変更：単一ノード」(p.19-68)
- 「DLP-A272 セキュリティ ポリシーの変更：複数ノード」(p.19-69)
- 「DLP-A512 ノードアクセスと PM クリア権限の変更」(p.22-4)
- 「DLP-A158 ユーザのパスワードとセキュリティ レベルの変更：単一ノード」(p.18-31)
- 「DLP-A160 ユーザのパスワードとセキュリティ レベルの変更：複数ノード」(p.18-33)
- 「DLP-A159 ユーザの削除：単一ノード」(p.18-32)
- 「DLP-A161 ユーザの削除：複数ノード」(p.18-34)
- 「DLP-A456 ノードへの RADIUS 認証の設定」(p.21-39) — この作業には、RADIUS サーバの変更や削除に関する説明が含まれています。

ステップ 4 「NTP-A108 データベースのバックアップ」(p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。

NTP-A87 SNMP の設定変更

目的	この手順では、ONS 15454 の SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）設定を変更します。
工具 / 機器	なし
事前準備手順	「NTP-A256 SNMP の設定」 (p.4-15)
必須 / 適宜	適宜
オンサイト / リモート	オンサイトまたはリモート
セキュリティ レベル	プロビジョニング以上のレベル

ステップ 1 [「DLP-A60 CTC へのログイン」](#) (p.17-79) を実行します。すでにログインしている場合は、[ステップ 2](#) へ進みます。

ステップ 2 [「NTP-A108 データベースのバックアップ」](#) (p.15-6) を実行します。

ステップ 3 必要に応じて次の作業を行います。

- [「DLP-A273 SNMP トラップ宛先の修正」](#) (p.19-71)
- [「DLP-A163 SNMP トラップ宛先の削除」](#) (p.18-35)

ステップ 4 [「NTP-A108 データベースのバックアップ」](#) (p.15-6) を実行します。

終了：この手順は、これで完了です。
